



第17回 酸化ストレス・抗酸化セミナー

～先制医療における酸化・還元バランスとリポドミクス～

会場 秋葉原コンベンションホール
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

日時 2019年7月14日(日)12:30～17:00(受付11:45～)

参加費 一般¥10,000 ユーザー¥5,000 通訳付

定員 100名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

懇親会 参加費：¥5,000 時間：17:20～18:50
場所：chiocciol@pizzeria 秋葉原UDX内AKIBA_ICHI 1F
【会場が変更する場合があります】

主催 株式会社ウイスマー/レドックス分析センター

後援 International Observatory of Oxidative Stress (Italy)

2003年にスタート致しました本セミナーは、今回で17回目を迎えます。この16年間で酸化ストレスと疾患、健康度、予知・予防医学、アスリートのコンディショニングといった広い分野への研究が大きく進展しております。特にここ数年、数ある酸化ストレスマーカーの中でも、d-ROMsテストが将来の発症を予知するマーカーとして海外・国内論文で発表され、益々注目されています。

山門實先生が「生活習慣病は酸化ストレス病」と先駆けて提唱されている如く、日本が世界に先駆けて提唱している「健康長寿社会」の実現には、「酸化・抗酸化レベルの正しい評価とそのソリューション」が最も重要な課題と言えます。

本セミナーのテーマは「先制医療における酸化・還元バランスとリポドミクス」です。特別講演には第1回セミナーからご講演頂いているイオリオ先生(イタリア酸化ストレス研究機構会長)そして抗酸化食品や脂肪

酸研究で高名なスカパニーニ先生(イタリア・モリーゼ大学医学健康科学部・教授)日本からはウイスマー社の特別学術顧問でもあります山門實先生(足利大学看護学部学部長・教授)にご講演頂きます。加えて国内から各分野の6名の先生方に最新研究をご発表頂きます。

本セミナーを通じて、「先制医療(予知・予防医学)」に向けての酸化ストレス・抗酸化力の定期的なモニタリングとそのソリューション、そして酸化ストレスにも大きく関連する体内の脂肪酸状態を網羅的に解析する「リポドミクス脂肪酸テスト」の重要性をお掴み頂ければ幸いです。

万障お繰り合わせの上、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ウイスマー 代表取締役社長
関 泰一



酸化ストレス・抗酸化セミナー 講師&演題 順不同



特別講演1

国際酸化ストレス研究機構 イタリア 会長

Eugenio Luigi Iorio 先生

演題 ● 酸化還元反応のレドックスオミックスからリポドミクス、そしてエレクトロミクスの時代へ。予防医療の最新情報。



特別講演2

イタリア・モリーゼ大学医学健康科学部 教授

Giovanni Scapagnini 先生

演題 ● 酸化還元反応とリポドミクスにおけるサプリメントの重要性と活用法



特別講演3

足利大学 看護学部 学部長 教授
三井記念病院総合健診センター 特任顧問

山門 實 先生

演題 ● 足利長寿研究の進捗状況



講演1

熊本大学大学院生命科学研究部(薬学教育部)遺伝子機能応用学分野 准教授
熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)遺伝子機能応用学分野 准教授

首藤 剛 先生

演題 ● 閉塞性肺疾患動物モデルにおける酸化ストレス



講演2

つばきウイメンズクリニック 院長
愛媛大学医学部産科婦人科学 非常勤講師
兵庫医科大学産科婦人科学 非常勤講師

鍋田 基生 先生

演題 ● 酸化ストレスと不妊症



講演3

日本体育大学体育学部 教授・体育学科長

杉田 正明 先生

演題 ● 酸化ストレスと抗酸化力からみた長距離選手のコンディショニング



講演4

早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授

鈴木 克彦 先生

演題 ● 運動誘発性筋損傷における好中球の関与と予防



講演5

国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター
予防医学研究室 室長

坂根 直樹 先生

演題 ● 褐色脂肪組織とリポドミクス



講演6

福井大学 第一外科(消化器外科・乳腺内分泌外科学) 教授

五井 孝憲 先生

演題 ● 大腸癌と酸化ストレスの関連について

お申し込み・お問合せ



株式会社ウイスマー/レドックス分析センター
TEL : 03-5802-7333 FAX : 03-5802-7332
E-mail : info@wismerll.co.jp

